Anaheim 2018

平成30年度

水戸市学生親善大使派遣事業研修報告書

■期間 平成30年 7月20日(金)～8月1日(水) 13日間

■派遣先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市

はじめに

公益財団法人水戸市国際交流協会
理 事 長　阿 部　真 也

水戸市の代表として、平成 30 年度の水戸市学生親善大使がアメリカの文化と歴史を学び、相互理解と友好親善の目的を果たして、無事帰水いたしました。中村智美先生を団長とし、7 月 20 日から 8 月 1 日までの日程でアナハイム市にホームステイしました。

歴史、文化、言葉の壁を超えて得たアナハイムでの友情、体験、思い出は、これからの人生を豊かなものにすることでしょう。互いに認め合うことができる国際人として羽ばたくためのステップになると、確信しております。

学生親善大使経験者の皆さんには、今回の派遣で終わることなく、体験を基にして水戸市の国際交流・異文化理解の促進に寄与することを期待いたします。

最後に、このプログラムに携わった関係者並びに学生親善大使を受け入れて下さいましたアナハイム市姉妹都市委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

I am very happy to report that all Mito Student Ambassadors in 2018, headed by Ms. Nakamura, returned to Mito safely. They stayed with families of Anaheim from July 20 to August 1. They studied American culture and history and deepened their understanding and friendship between both cities.

The friendships and experiences will enrich their lives by helping them overcome the differences in history, culture and language. I am convinced that knowing each other will play an important role in becoming more internationally oriented individuals.

I hope that this experience will motivate the student ambassadors to contribute to promoting international exchange and cross-cultural understanding in Mito.

In closing, I would like to express my gratitude to all of the people concerned in this program, both living in the City of Anaheim and the City of Mito. Also many thanks to the members of the Anaheim Sister City Commission for hosting our students. Thank you very much.

Shinya Abe, President
Mito City International Association

目次-contents-

Ⅰ.平成 30 年度学生親善大使派遣事業概要・・・・・・・・・・・i
Mito Students Ambassadors 2018 Summary

Ⅱ.平成 30 年度学生親善大使名簿・・・・・・・・・・・・・・・ii
List of student ambassadors

Ⅲ.日程/日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
Schedule/Diary

Ⅳ.ホストファミリー紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
Introduction of host families

Ⅴ.親善大使の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
Ambassador report

Ⅵ.感謝の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
Words of appreciation

Ⅶ.おまけページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
Bonus pages

Ⅷ.参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
Background information

平成30年度　水戸市学生親善大使派遣事業

1　目的

水戸市内の学生を水戸市と国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3　概要

（1）　派遣期間　平成30年7月20日（金）～8月1日（水）（13日間）

（2）　派遣先　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
アナハイム市姉妹都市委員会承認の市民ボランティア宅にて
ホームステイ

（3）　派遣人数　学生親善大使8名（他に親善大使を引率する団長、国際交流協会職員が同行）

（4）　内容

ア　アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修

イ　英語研修

ウ　関係機関、施設等の訪問・見学

エ　水戸市の紹介

オ　ホームステイを通しての市民間交流

4　スケジュール

派遣前後の研修ならびに派遣期間

7月　1日（日） 7月　8日（日）　13:30-17:00 7月15日（日）	事前研修
7月20日（金）～8月1日（水）	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月19日（日）　13:30-17:00	事後研修

平成 30 年度水戸市学生親善大使団員

氏名		性別	学校	学年	ホストファミリー
今橋　結菜	Yuna IMAHASHI	女	水戸桜ノ牧高等学校	2	David HAN Clotilde HAN
小澤　陸久	Riku OZAWA	男	水戸葵陵高等学校	2	Anthony PEREZ Maria PEREZ
小櫃　優紀子	Yukiko OBITSU	女	水戸第一高等学校	3	Chieu TRINH Nguyet NGUYEN
柏村　昂	Akira KASHIMURA	男	水戸第一高等学校	2	Nguyen SON Vu THU
正路　和也	Kazuya SHORO	男	茨城大学教育学部 附属中学校	2	Van MUOI Dao NGA
髙田　和奏	Wakana TAKADA	女	水戸葵陵高等学校	2	David HAN Clotilde HAN
田中　小桜	Koharu TANAKA	女	水戸第一中学校	3	Jennifer SASAI
西川　天	Takashi NISHIKAWA	男	水戸第二中学校	2	Nguyen SON Vu THU

（団長）

中村　智美	Tomomi NAKAMURA	女	笠原中学校教諭	Jennifer SASAI

（事務局）

王　偉亜	Wang Weiya	男	（公財）水戸市国際交流協会	Joe CARTER Helen CARTER

Schedule

7 月 20 日（金） / July 20 Fri.

水戸市出発

Leave Mito

→ アナハイム市到着

→ Arrive in Anaheim

7 月 21 日（土）、22（日）

/ July 21 Sat., 22 Sun.

ホストファミリーと過ごす

Host Family Day

7 月 23 日（月） / July 23 Mon.

消防署見学

Visit Anaheim Fire Station

ビーチパーティー

Beach Party

7 月 24 日（火） / July 24 Tue.

市長表敬訪問

Meet with the Mayor

市議会議場見学

Visit the Chamber of the City Council

7 月 25 日（水） / July 25 Wed.

エンゼルスタジアム見学

Visit the Angel Stadium

プールパーティー

Swim Party

7 月 26 日（木） / July 26 Thu.

ディズニーランド・

カリフォルニアアドベンチャー

Disneyland & California Adventure

7 月 27 日（金） / July 27 Fri.

ダウンタウンディズニーで買い物

Shopping at Downtown Disney

さよならパーティー

Sayonara Dinner

7 月 28 日（土） / July 28 Sat.

野球観戦

Watching Baseball Game

(Angels vs Mariners)

7 月 29 日（日）、30 日（月）

/ July 29 Sun. , 30 Mon.

ホストファミリーと過ごす

Host Family Day

7 月 31 日（火） >> 8 月 1 日（水）

/ July 31 Tue. >> August 1 Wed.

アナハイム市出発 → 水戸市到着・解散

Leave Anaheim → Back to Mito

第1日目　7月20日(金)

（1 日の行動）

14：00　水戸市国際交流センター集合
14：30　出発式
16：30　成田空港着
19：10　成田空港発
～日付変更線（機中泊）～
13：30　ロサンゼルス国際空港着
(バスでアナハイムへ向かう)
ウォルマートで買い物
17：30　DTCC(ダウンタウンコミュニティセンター)到着
歓迎会
18：30　DTCC 解散

（1 日の様子）

水戸市国際交流センターに集合し、出発式を行う。式中では、高橋市長らにより式辞が述べられた後、記念撮影を行った。式を終えた後、国際交流センター横に待機していた大型バスに荷物を積み込み、いよいよ出発する。

午後 6 時頃、成田空港へ到着。シンガポール航空にチェックインして荷物を預けると、いよいよ出国審査に移る。幸い大きなトラブルもなく審査を終え、出発までの時間を、成田空港内のスターバックスでお茶をしながら過ごす。その後、シンガポール航空で、ロサンゼルス国際空港にむけて出発する。機内はやや寒く、乾燥していたが、サービスはとても良く、特に機内食は絶品であった。

現地時間午後 1 時半、ようやくロサンゼルス国際空港に到着する。空港の滑走路はとても広く、地平線が見えるほどだった。入国手続きを済ませると、早速バスでアナハイムへ出発する。バスの中では、昼食代わりにサンドウィッチ、ポテトチップス、それとクッキーを食べた。

午後 5 時半に DTCC に到着。歓迎会として、豪華なお土産とジュース、お菓子をいただきながら、各々のホストファミリーと初の顔合わせをした。

【Akira】

第2日目　7月21日（土）

（1 日の行動）
終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）
　この日は、ホストファミリーデーの初日です。まだアメリカの時間に慣れることができず、普段よりも遅く起きてしまいました。眠い目をこすりながらリビングへ行くと、日本では見たことのないカラフルなシリアルと、巨大なボトルに入った牛乳が用意されていました。朝からとてもヘビーでした。
　お昼になると、ホストファミリーと昼食に作るハンバーガーの材料を買いに、スーパーに行きました。そこで売られている食品は、どれも大きくて改めてアメリカに来たんだなぁと実感しました。そして、材料を買ってハンバーガーを作りました。一緒に作ってくれたホストファザーの Anthony は、中身のソース、肉やパンの焼き加減などにこだわりをもっていて、とても美味しいハンバーガーができあがりました。本場の味に感動し、2 つも食べてしまいました。忘れられない思い出の味です。
　夜になると、ホストシスターの Jessica が通う教会のバレーボールの試合を観に行きました。教会にスポーツチームがあり、さらに教会対抗の試合があるということに驚きました。

試合には、様々な人種や年代の人が出ていて、教会が、人々を繋ぐコミュニティになっていることがわかりました。1 日過ごしただけでも、日本とは全然違うなと思い衝撃を受けた 1 日でした。

【Riku】

第3日目　7月22日（日）

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

2 日目のホストファミリーデーで、私は朝から大きなピザを食べ、ホストブラザーのスティーブンとホストシスターのミシェルと一緒に、ハリウッドへ行きました。通りは多くの観光客で溢れていて、ハリウッド俳優の等身大の人形、地面に刻まれた名前やサインなどがありました。私はとてもワクワクし、たくさんの写真を撮りました。また、スターウォーズのコスプレをした人が「一緒に写真を撮ろうよ」と声を掛けてきて、お金を要求してきました。その時、ホストファミリーが「声を掛けられたら NO と言わなきゃだめだよ」と、私に教えてくれました。

昼食は、マクドナルドでフィレオフィッシュと、自分の顔と同じくらいのサイズのポテトを食べ、その後ショッピングセンターに行きました。その際、ミシェルから現地のトレンドのファッションを教えてもらい、とても楽しいショッピングになりました。

そして、現代美術館へ行ったのですが、そこに展示されていたのは 3D の絵画やピカソの絵画、ロサンゼルスの街の模型など、目を見張るものばかりでした。一番印象に残っているのは、美術館の外にあったベルリンの壁の一部です。とても興味深い作品でした。

夕方は、家でベトナム式のバーベキューをしました。焼いた牛肉、エビ、タマネギをレタスと一緒にライスペーパーで包み、春巻きを作りました。とても美味しかったです。そして、アイスクリームを食べに出かけました。夜 10 時過ぎにも関わらず、お店には行列ができていました。

スティーブンとミシェルは本当に優しくて、大好きになりました。次の日からはもっともっと自分から話しかけたいと思いました。

【Yukiko】

第4日目　7月23日（月）

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
　　研修
10：00　消防署見学
11：30　昼食（In-N-Out Burger）
13：00　DTCC にて、英語研修
14：30　水戸橋見学、ビーチパーティー
21：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

この日は消防署、In-N-Out Burger、水戸橋、ビーチパーティーに行きました。消防署見学では、消防士の方々が施設の中や、車両に積まれている道具などを見せてくれました。施設の中には、出動するときに一階まで素早く降りることのできる、滑り棒がありました。また、消防服を着させてくれました。消防服はとても重く、ボンベをつけると立っているだけで精一杯で、これを着て活動をするのはすごいと思いました。

消防署見学を終え、昼食を食べるために In-N-Out Burger へ行きました。パテとチーズが 2 枚ずつ入った Double-Double バーガーは、日本のハンバーガーと比べると、とても大きかったです。僕は普通の大きさのチーズバーガーを頼んだのですが、それでも十分大きく、これが本場なのかと驚きました。食べ終わった後は、水戸橋見学に行きました。水戸橋のかかっている池は、青く透き通っていてきれいでした。

そしてビーチへと向かいました。到着すると、すぐに海のほうへ行きました。遊びに来てくれたアナハイムの友達と皆で、波の来るそばで、砂のお城を波に流されないように作ったり、砂浜で何人かを砂に埋めたりして遊びました。少し日が傾いてきてからは、「スモア」（炙ったマシュマロをクッキーに挟んだもの）を作りました。スモアを作るのは初めてで、マシュマロがいい具合に溶けて甘く、すごくおいしかったです。みんなで撮った jumping picture は、飛ぶタイミングがなかなか合わなくて難しかったです。とても楽しい思い出となった一日でした。

【Kazuya】

第5日目　7月24日（火）

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
10：00　アナハイム市散策
11：30　昼食(Packing House)
13：00　市長表敬訪問、市役所施設・市議会議場見学
17：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

DTCC に集合し、午前中はアナハイム市役所周辺を散策しました。散策中に、「Mito Way」という標識や『永遠の友情を誓って　水戸市』という言葉が刻まれた建物を見つけました。これらを見て、水戸市とアナハイム市の絆を強く感じました。

昼食は「Packing House」で、各自食べたい物があるお店に行って、注文して皆で集まって食べました。私は、フライドチキンが挟まったワッフルサンドウィッチを食べました。メープルシロップがかかったワッフルと、チキンが絶妙にマッチしていて、とても美味しくいただくことができました。この料理はアメリカでとても人気だと聞いていたので、食べられてよかったです。

午後は、初めに市役所を訪問しました。市長が来るまでとても緊張していましたが、笑顔で迎えてくれた市長を見て、すぐに緊張がほぐれました。私は、「あなたが市長になった時、どういう気持ちでしたか？」と質問しました。「最初はもちろん驚いたよ。けれど、これからアナハイム市を良くするために頑張ろうと思ったんだ。」と、力強く答えてくれた市長は、かっこよく見えました。その後も、皆の質問に真剣に答えてくれました。最後に、市長から証書とお土産をもらい、一緒に写真を撮りました。

次に、議場を見学しました。私は、議員の代表をアナハイム市の各エリアから選出するという仕組みに驚きました。実際に議会の席にも座らせてもらいました。

今日の出来事は、普通の観光や留学ではなかなか経験できないことで、私たちは恵まれていると思いました。今日という貴重な経験をした日を忘れないことでしょう。

【Wakana】

第6日目　7月25日（水）

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合、研修
10：00　エンゼルスタジアム見学
12：00　エンゼルスタジアムで買い物
13：00　昼食/プールパーティーat Anthony's

（1 日の様子）

この日は、午前中にエンゼルスタジアムへ見学に行きました。DTCC からスタジアムへ移動するとき、Jackie にオープンカーに乗せてもらいました。初めてのオープンカーは、普通の車とは全然違って、アトラクションのようでした。スタジアムに着くと、その大きさに衝撃を受けました。見学が始まり中に入ると、大谷翔平などの有名な選手の写真があり、大興奮でした。また、普通は入ることができない実況席や、会見を行う部屋なども見学することができました。実況席の柱や壁には、穴が開いているところがあり、それはスタンドに飛んできたファウルボールが開けた穴だそうです。メジャーの試合の激しさを物語っていました。

午後からは、アナハイム姉妹都市委員会の Anthony さんのお宅で、プールパーティーをしました。Anthony さんのお宅には、プール、卓球台、ビリヤード台など、日本の家庭にはなかなかないものがあり、とても驚きました。プールに入ってみると、深いところでは 2 メートル以上もあり、足がつきませんでした。プールパーティーでは、Anthony さんの日本人の奥さんが作ってくれた昼食を、いただきました。ちょうど日本食が恋しくなっていたので、そこでいただいた唐揚げや海苔巻きは格別でした。自分も、ホストファミリーに日本食を作って、食べてもらいたいと思いました。

【 Riku 】

第7日目　7月26日（木）

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
　　ディズニーランド/
　　カリフォルニアアドベンチャー

21：30　World of Color (カリフォルニアアドベンチャーで上演される水と光と音のショー)の鑑賞

23：00　DTCC 解散

（1 日の様子）

この日は、待ちに待ったディズニーランドへ！ホストファミリーの Steven やアナハイムの学生親善大使も駆けつけて、案内してくれました。

まず初めに「Toy Story Midway Mania」に乗りました。待ち時間は 20～30 分ありましたが、みんなでおしゃべりをしていると、あっという間でした。その後も人気のアトラクションに乗り続け、計 7 つも乗ることができました。回ったアトラクションの中でも「Guardians of the Galaxy」や「Incredicoaster」は、日本の東京ディズニーランドにはなく新鮮で、みんなにとても好評でした。

昼食は、チュロスやホットドッグ、とても大きなターキーレッグなどを食べました。食べる時間が遅かったこともありますが、それ以上に量が多かったので、夕食は食べなくても、お腹が空きませんでした。

夜は、Jackie や Katie、団長先生たちと「World of Color」を見ました。よく見える場所から見ることができ、ショーの迫力に圧倒されました。開園から閉園まで感動と驚きで本当に夢のような 1 日でした。

【Takashi】

第8日目　7月27日（金）

（1 日の行動）

9：30　DTCC にて研修
10：00　ダウンタウンディズニーで買い物
12：00　DTCC にて昼食（ピザ）
14：00　さよならパーティー発表練習
16：00　Kona Shaved Ice Fun
（お楽しみかき氷）
18：00　さよならパーティー

（1 日の様子）

前日のディズニーの余韻が残りつつも、皆元気に DTCC に集合しました。

研修では、ダウンタウンディズニーについて学びました。研修後、実際にダウンタウンディズニーへ行きました。ディズニーのお土産を売っている店や、映画館やスターバックス、レゴショップなどたくさんのお店がありました。日本とは違って、パークでたくさんお土産を買っていくのではなく、別の日にダウンタウンディズニーに来て、お土産を買うのがアメリカ流だと教えてもらいました。お土産をパークで買う必要がないと、アトラクションを長い時間楽しめるので、日本にもダウンタウンディズニーのような施設ができればいいなと思いました。皆大量にお土産を買って、DTCC に戻りました。

昼食は、大きなピザを食べ、昼食後さよならパーティーの練習をしました。日本で練習したことにさらに改良を加え、本番に向けて準備しました。練習の後は、ジャッキーの友人である、ミッキーの経営するかき氷の移動販売車が DTCC に来てくれました。日本では見られない、たくさんの味と色に驚きました。

さよならパーティーでは、最初に今回のアナハイム滞在を振り返るビデオを見ました。そして私たちの発表の番がきました。クイズではみんな一緒に大盛り上がりし、合唱の「翼をください」は、本番が一番うまく歌えたと思います。2 曲目の「リメンバーミー」を歌った後の感謝のスピーチは、涙ながらに一生懸命思いを伝えられたと思います。本当に充実していた一日でした。

【Yuna】

第9日目　7月28日（土）

（1 日の行動）

午前　ホストファミリーと過ごす
15：30　エンゼルスタジアム集合
　　テールゲートパーティー
18：07　野球観戦（マリナーズ戦）
　　試合終了後、DTCC 解散

（1 日の様子）

この日、午前中は家でホストファミリーと過ごし、午後はエンゼルスタジアムで野球観戦をしました。僕は中学校で野球部に所属しているので、この日をとても楽しみにしていました。

スタジアムで行われた、テールゲートパーティーでは、ホットドッグを食べたり、コーンホールゲームと呼ばれる、二つのチームに分かれて、相手側の穴の開いた箱に Bean Bag という大きいお手玉のようなものを投げて、得点を競うゲームをしたりしました。この試合前に行うテールゲートパーティーは、日本にない習慣だったので新鮮でした。

スタジアムへ入り、普通の観客席に行くと思っていたら VIP エントランスに通されびっくりしました。なんと、VIP ルームでの観戦だったのです。部屋の広さと豪華さに驚きました。みんなで頬にエンゼルスのマークのシールを張り、試合を楽しみました。大谷選手は二番 DH で出場していました。回の合間に大谷翔平と書いたボードを作り、掲げていると、僕たちが大きなスクリーンに映し出されました。まさか映るとは思っていなかったので、嬉しかったです。また、8 回に大谷選手がツーベースヒットを打ち、とても盛り上がりました。試合結果は 11-5 で、ホームランもたくさん打ったエンゼルスの大勝でした。試合が終わった後には、きれいな花火が上がりました。メジャーリーグ観戦は初めてで、迫力がありました。また、ホームゲームだったので、スタジアムが一体となってエンゼルスを応援していて、とても盛り上がり楽しかったです。とても充実した一日となりました。

【Kazuya】

第10日目　7月29日（日）

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

日本帰国まであと 2 日となったこの日、私は楽しみにしていたロサンゼルス観光へ行きました。

最初にハリウッドへ行って通りを歩いていくと、有名人のスターが地面いっぱいにあり、たくさんの人が写真を撮っていました。人だけでなくディズニーキャラクターのサインもあり面白かったです。昼食を食べに行く途中、映画「LA LA LAND」の舞台になった、グリフィス天文台の近くを通りました。今度アメリカへ行く時は、ぜひ立ち寄ってみたいです。

次に向かったのはビバリーヒルズです。日本では考えられないくらいの規模の家が所狭しと並び、まさにセレブリティにふさわしい場所だと思いました。車に戻る途中、Sprinkles Cupcakes という有名なカップケーキのお店に寄り、カラフルなミニカップケーキを買いました。とてもかわいく、食べるのがもったいないほどでした。

最後は、海が有名なサンタモニカへ行きました。夕日の沈む海を眺めていたら、空港から飛行機が飛んできました。「あなた達はあの空港から帰るのよ」と言われて、ふと寂しくなりました。その後、ハワイアンレストランに行き、家に帰りました。そのとき、お世話になった Jennifer と彼女のボーイフレンドにプレゼントを渡すことができ、喜んでもらえてよかったです。

この日一日でたくさんの新しいものを見ることができ、たくさんのことを学びました。とても充実した一日になりました。

【Koharu】

第１１日目　７月３０日(月)

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

今日は、ホストファミリーと、アナハイムで過ごす最後の日でした。午前中は、ホストファザーもホストマザーも仕事でいなかったので、一緒にホームステイをしていた結菜と家でのんびりし、ふたりでお昼の用意をして庭で食べました。ホストマザーが作ってくれる料理はとても美味しかったので、ホストマザーの料理が食べられなくなると思ったら悲しくなりました。

午後、ホストマザーが帰ってきて、私が行きたいと言っていた VANS のショップに連れて行ってもらいました。靴や T シャツ、帽子などをいろいろ見て、私は T シャツを買いました。次に TARGET というディスカウントストアに連れて行ってもらいました。まず、中にあるスターバックスでキャラメルフラペチーノを一番大きいサイズで頼みました。日本では見たことがない、想像以上の大きさに驚いたのはもちろんですが、飲み切るのが本当に大変でした。そのあと、お菓子やメッセージカードなどを買い、アナハイムでの最後の買い物が終了しました。

夕方は、ホストファザーも一緒にピザを食べに行きました。初日の夕食と比べて格段に話せるようになった気がして、嬉しかったです。家に帰ってからは、4 人で“みとちゃんオセロ”をやりました。ホストファミリーのふたりはオセロが始めてだったようですがとても楽しんで、気に入ってくれました。終わってからプレゼントとしてあげたら喜んでくれたのでよかったです。

おやすみを言って自分の部屋に戻った後、ふたりが来て、スターバックスのカリフォルニアデザインのマグカップをプレゼントしてくれました。とても嬉しい気持ちの反面、本当に最後なんだな、と思ったら悲しくて涙が出そうになりました。

アナハイムに滞在している 12 日間、いろんな人からたくさんお土産をいただきました。そのため帰りの荷造りが大変でしたが、何とか規定内の重量にまとめることができました。その後、部屋の掃除をして、ホストファミリー宛にメッセージカードを書いてベッドに入りました。でも、次の日起きたら本当にアナハイムの人たちとお別れなのかと思ったら、なかなか眠ることができませんでした。

【Wakana】

第12、13日目　7月31日(火)、8月1日(水)

（1 日の行動）

5：30　DTCC 集合
　　バスでロサンゼルス空港へ
9：30　成田空港へ出発
　　(機中泊、日付変更)
13：30　成田空港着
15：30　水戸市国際交流センター到着
　　解散

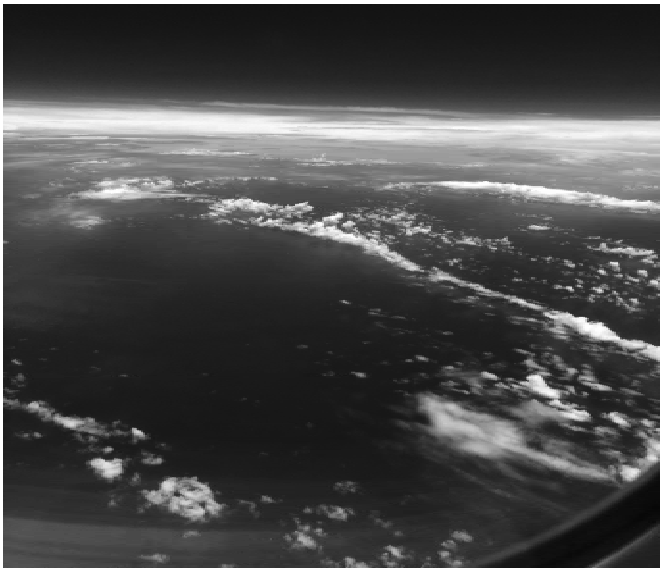
（1 日の様子）

朝早く起きて、DTCC に集まる。ホストファミリーと過ごせるのもこれが最後の時なので、皆目に涙を浮かべていた。記念写真を撮ったり連絡先を交換したりした後、いよいよバスでアナハイムを出発する。皆バスの中から一杯に手を振っていた。バスでの移動中は朝早くに集合したこともあり、寝ている人が多かった。

ロサンゼルス国際空港に到着し、行きと同じシンガポール航空へのチェックインを済ませた後、日本よりも比較的厳しい出国審査を行い免税店エリアへ。お土産を物色しながら、飛行機の搭乗時間を待った。

機内は全員の席が横一列に並んでいたので、そこで出発前に自撮りをした。9 時 30 分、予定より少し遅れて離陸、ロサンゼルスを発つ。

日本に着いたのは、日付が変わって 8 月 1 日の昼頃であった。アナハイムに比べて緑が多く、改めてもう日本に帰ってきたのだなぁと思った。到着した成田空港で入国手続きを済ませた後、トイレ休憩と空港内のコンビニでちょっとした買い物をして、帰りのバスに乗った。帰りのバスの中では、人狼ゲームをして遊んだ。3 時半、水戸市国際交流センターに到着。名残惜しいが、13 日間の国際交流も、ここでお開きとなった。



【Akira】

Our Host Families

Thank you!!

Our host families

Thank you for everything.
We were glad to meet you and to live with you for 13 days.
We will never forget you and many memories.
Please come to Japan and to our places.
We are looking forward to seeing you again.
You are our great family in Anaheim.

Wakana, Yuna

Dear my host family, Dad(Anthony), Mom(Maria)

Lauren, Jessica, and Anthony,

Thank you for inviting me to your house.
I had a really great time with you.
Now, I really miss you because you were very kind to me!
The days I spent with you were full of fun!
I'll never forget.

If you come to Japan, I want to invite you to my house!

Thank you very much!

Riku

My host family!!!

Thank you for the 13 days. I really enjoyed talking with all of you.
I'm happy to meet such a great family. Now I love Vietnamese food and its lifestyle.
You are my second family. I love you!!!
I'll come to Anaheim and meet you again someday.

Yukiko

DEAR OUR HOST FAMILIES

Dear Ms. Thu, Mr. Son, Justin and Ethan,
Thank you very much. You were so kind to us. We had a great time with you. We did many things together. We went to sea shore, shopping, hiking, restaurants, and more. We will never forget these good memories.

Akira and Takashi

～My Host Family～

Thank you for accepting me. I had a great time with you. I'm looking forward to meeting you again!!

Thank you for everything!!

Kazuya

Dear my host family,

We could make wonderful memories. Thank you very much! We spent a very pleasant time with you. We'll never forget the precious days. Every student had a wonderful time. Of course me too! I love Anaheim. I love my host family!

TOMOMI

Dear my host family, my teacher (Jennifer), Oto-san(Alan),Oka-san(Marilyn),

(J) Thank you for everything. My English is not so good, but you listened to me carefully and used easy English for me. I want to see you again.

(A)Thank you for taking me to DTCC every morning. You always cared about me.
You like fish so I want to eat sashimi with you someday.

(M)You asked a lot about me. At first I was nervous, but then I was so relaxed.
You talked a lot with me. I was so happy when I could talk with you.
I want to see you again. I'll guide you in Mito city and Japan when you visit me.
I love my family.

KOHARU

ANAHEIM REPORT

Thank you so much!
We love ANAHEIM!!

柔軟な考え方を持つこと　－Having a flexible way of thinking－

今橋　結菜
Yuna IMAHASHI

今回のアナハイム市での生活は、言わずもがな最高に楽しいものでした。良いメンバーにも恵まれ、一分一秒たりとも飽きることはありませんでした。そんな最高の旅の思い出については、他のページにも書いたので、ここでは私がこのプログラムを通して、自分自身の持っていた目標を達成できたのか、何を学ぶことができたのかをお話ししようと思います。

今回のアナハイム市への留学は、私にとって二回目の海外留学ということで、前回とは異なった目標を持って臨むことにしていました。前回は英語を使ったコミュニケーションを通して英語力の向上を図るのが目的でした。今回の私の目標は、一言で言うと「将来グローバルな人間になるためには何が必要かを見つける」です。

私は今回の目標を達成するために、アナハイム市で出会ったある人の話を大切にしようと心掛けることを決めました。彼はとても頭がよく、いろんな角度から的確な意見を導き出してくれる人でした。そんな彼の話で、とても印象に残る話がありました。それは、英語は一つじゃないということです。カリフォルニア州は、たくさんの国から来た人がたくさん住んでいる州だと彼は言っていました。確かに、知り合った人々の中には、母国語がアメリカ英語ではない人もいました。それ故に、発音やなまりがアメリカ英語らしくない人もいました。私は一度、「発音が違っていたり、なまりが強くて違和感を感じる」と、少し批判的な相談を彼にしたことがありました。アメリカに住んでいるのになぜ発音が「らしくない」のか。その時彼から返ってきた答えこそが、英語は一つじゃないということです。どういうことかというと、世界中の人々が自分だけの英語を持っているということです。私には私なりの英語が、友達には友達なりの英語が。発音が少し違うからそれは英語ではないと否定すること。それこそが間違いなのです。完璧な英語なんてものは、存在しないのだと彼は言いました。それぞれが持つ英語を理解し、受け入れようとする心こそが、英語を使って世界へ羽ばたいていけるグローバルな人間に、近づくための一歩なのだと、発見することができました。

最後になりますが、このような貴重な機会を頂けたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

Dear my host family,
Thank you for your kindness. I had a lot of precious experiences. I want to be a good person in future. And I'd like to meet you again, of course, Noel, too!
I will never forget this memory. I love you mom, dad, and Noel.
Yuna

感謝　　—Thanks—

小澤　陸久
Riku OZAWA

アナハイムで過ごした 2 週間は、楽しくて仕方がありませんでした。現地での研修や、ホストファミリーとお出かけをしたり、アナハイム市の学生親善大使と一緒に遊んだりと、楽しいこと尽くしでした。私がこんなにも楽しめたのは、他 7 名の最高の学生親善大使の仲間と、アナハイムに行けたからだと思います。だから、今後もこの 8 名でボランティア活動などに参加したいです。

私は、今回のホームステイで、すっかりアナハイムに魅せられてしまいました。アナハイムは気候も日本より過ごしやすく、お店もたくさんあり、暮らしやすい街でした。たくさんある魅力の中でも、特に魅了されたのは、人々の優しさです。アナハイムの人は親切な人ばかりでした。アメリカでは、すれ違う人とあいさつを交わしたり、レジの店員さんと世間話をしたりと、人と人との距離がとても近いなと思いました。そして、私が日本からホームステイをしに来ていることを言うと、親切に「素敵な時間を過ごしてね。」などと、優しく声をかけてくれる人がたくさんいました。私は、改めてアナハイムの人は温かくて優しい人ばかりだと、感じました。私はこの経験を活かして、日本でもあいさつなどをして、少しでも誰かの心を温められたらいいなと思います。

私は、アナハイムで最高の時間を過ごしました。それも現地の方々が丁寧におもてなしをしてくださったからです。ホストファミリーをはじめ、支えてくださった現地の方々、この事業にかかわってくださった皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、学生親善大使として経験したことは、かけがえのない宝物です。貴重な経験をありがとうございました。

Dear my host family,

I was glad to meet you. I could make really great memories with you.
I want to come back to Anaheim. I want to improve my English by then.
You were really kind to me, so I did not get homesick!
Thank you for giving me a happy time!

Riku

全力で楽しむこと　—Enjoying everything—

小櫃　優紀子
Yukiko OBITSU

私は、正直出国前は高校３年という大事な年に留学を経験することへの不安、親善大使に選ばれたことへの誇り、新たな体験ができることへの期待、色々な気持ちがありました。だからこそ、確実に目標を達成し、たくさんのことを吸収したいと思っていました。

私が目標にしていたことは、「人に合わせすぎず、自分が思っていることをしっかりと伝えること」です。帰国した今の私が言えることは、何事も楽しむことが大切だということです。初めは、自分から英語で話さなきゃという気持ちが強いだけで、実際は話しかけることができないことがありました。しかし、ビーチやディズニーランドに行ったとき、ふと自分がいつもより英語を話していることに気が付きました。当たり前のようなことですが、自分が何かを楽しんでいるとき、会話が弾むのだなと感じました。そのため、車の中での会話や、初めての場所でのショッピング、食事など、何事も楽しもうと思いながら過ごしました。すると、自然と自分の思っていることも話せるようになっていきました。この発見と経験は、日本での生活の中では絶対にできないことだと思います。アメリカという場所であること、また素敵なホストファミリーや親切なアナハイム市の方々と、コミュニケーションを取れたことによってできたのだと思います。また、自分から積極的に話すことで、現地の方に英語を褒めてもらえたことが、とても嬉しかったのと同時に、聞き取れず反応できなかった英語を、聞き取れるように頑張りたいと思いました。本当にアナハイムに行って良かったと思います。この経験を活かし、勉強においても楽しみを見つけながら、目標に向かって頑張ろうと思います。そして、必ずまたアナハイムに行き、今回出会った方々とお話したいです。

After spending time in Anaheim, I now think that it is essential to enjoy anything I do. At first, sometimes I hesitated to speak to people although I knew that I should speak to them in English. However, when I went to Disneyland, I found myself talking with people, in English, without any struggles. I felt that I could talk a lot when I was enjoying something. After that, I tried to enjoy many things during my stay so that I could comfortably say whatever I was thinking. For example, chatting with my host family in the car, going shopping, and eating meals. I think that I was able to have such a great experience thanks to my good luck to be in a new place, Anaheim, my kind host family and the friendly people in Anaheim.

Moreover, I’m happy that some people praised my English and I want to understand English used by native speakers more. I also want to enjoy studying for entering college, visit Anaheim again, and talk with the people I met this summer.
Yukiko

日米、水戸とアナハイム　–Japan and the U.S, Mito and Anaheim–

柏村　昂
Akira KASHIMURA

今回のプログラムを通じて、私は非常に満足している。というのは、この 13 日間が日米の文化の違い、そして共通点を考えさせるものであったからだ。出発前、私は、大使として日米の文化の違いを考えようと目標をたてた。なぜなら、渡米前は本当に日米の間で文化が大きく違うのか疑問に思っていたからだ。

しかし、いざアナハイムに行くと、私は大きな違いに気づいた。衣食住の違いはもちろん、日常で使う小道具や、挨拶などの中にも、アメリカならではの、日本では見られないようなものがあったと思う。一方で、日本とアメリカで共通しているものもあった。例えば、日々の暮らしの中での感謝の心である。今回の事業を通じて、私はこういった共通するものが大切なのではないだろうかと、感じるようになった。

水戸市とアナハイム市は、太平洋の両端に位置し、気候も大きく異なる。だが両市は面積、人口共に同じような値であり、何より「姉妹」都市である。だからこそ、私は水戸市学生親善大使として両市の友好の一端を担うことができて、非常に光栄である。

It was a great experience for me to take the role of Mito City’s Student Ambassador. Anaheim is a fascinating city. There’re Disneyland, Angel Stadium, Packing house, and a lot of interesting places and buildings. Thanks to Anaheim city, I spent a wonderful time in every place I visited.

All of my experiences in Anaheim were so exciting! We held many parties and ate delicious pizzas and hamburgers. And people in Anaheim were so kind to us. They made our visit very special.

At last, I want to say “Thank you” to my host family. They helped me always and took me to many interesting places around Anaheim. To all my host family, thank you for hosting me. You are my first host family and you supported me many times. I’m glad to have met you. If I have a chance to go to Anaheim again, I want to see you again very much!!

Akira

アナハイムで得た宝物　—Treasures gained in Anaheim—

正路　和也
Kazuya SHORO

今回、アメリカで過ごした日々を振り返ってみると、充実した人生の中でも、とても貴重な体験を積むことができた 13 日間だったと思います。日本を飛び立つ前は、言葉の壁をどう乗り越えるかなどの不安がありました。しかし、実際にホストファミリーに会うと、初対面なのにも関わらず、僕の趣味や日本についてたくさん質問してくれました。緊張していた僕は、拙い英語ながらも頑張って答えていると、あちらも真剣に話を聞いてくれました。また、聞き取れず、分からなかった時も、ゆっくり話してくれたり、分かりやすい言葉で説明してくれたりして、それが僕の不安を取り除いてくれました。さらに、はじめは自分の英語に自信がありませんでしたが、伝えようと努力すれば、相手に伝わるという事が分かり、失敗を恐れないでコミュニケーションをとろうと思えるような自信も、つけさせてくれました。ホストファミリー以外の行く先々で出会う人も、気軽に話しかけてくれて、アメリカの人は日本とは違って、初対面の人にでも誰にでもフレンドリーな人が多いと感じました。

また、僕がアメリカに滞在している時に感じたものは、出会いの大切さです。もしこのプログラムに参加していなければ、親善大使の仲間たちとの出会い、アナハイムでのたくさんの人との出会いは無く、この出会いはかけがえのないものであり、大切にしなければならないと感じました。僕は、さよならパーティーの時に、ホストファミリーや友達に、必ずアナハイムに帰ってきて皆に会いに来ると、約束して帰国しました。今度アナハイムを訪れるときには、英語をもっと学んで、今よりも成長した姿で会いに行きたいです。アナハイムで手に入れた宝物、人と人とのつながりを大切にして、今後生活していきたいです。

お世話になった国際交流センターの方々、ホストファミリーをはじめとするアナハイム市の方々、親善大使の仲間たち、そして両親に感謝しています。本当にありがとうございました。

I thank you, my host family, for what you have done to me. I was happy to meet you. You are my best family in America. I will make every effort to be able to speak in English with you when we meet again.
I had a great time during my stay in Anaheim. I could learn many things and make wonderful memories. I love Anaheim!! I will come back again!!
Thank you for everything!!
Kazuya

すべてのことにありがとう　—Thank you for everything—

髙田　和奏
Wakana TAKADA

帰国してからずっとアナハイムでのたくさんの思い出、出会った人たちのことが忘れられず、気付いたら撮った写真を何度も見返しています。私にとって今回の研修はとても濃密で貴重な、忘れることのできない経験になりました。

私は今回、海外に行くこと自体が初めてだったので、不安もありましたが、それ以上に楽しみたい気持ちのほうが大きく、とにかく頑張ろうと思い出発しました。しかし、実際にアナハイムに着きホストファミリーと会ったら、自分の英語が伝わらず、話すことが不安になり、自信をなくしてしまいました。それでも、日本の家族や友達からのメッセージ、一緒に来た親善大使の仲間たちのサポート、ゆっくり話したり根気よく私の英語に耳を傾けたりしてくれた、アナハイムの人たちの優しさのお陰で、徐々に積極的にコミュニケーションが取れるようになり、聞き取れる英語の量も増えていきました。少しではありましたが、アナハイム滞在中に自分の進歩を感じられて嬉しかったです。

アナハイムは素晴らしい街でした。生活しやすい環境、魅力に溢れた観光地や人たち。13 日間滞在して良いところしか見つかりませんでした。特にアナハイムの人たちは本当に温かく、話していると時間を忘れるほど楽しかったので、別れが本当に辛かったです。ホストファミリーをはじめ皆さんが「いつでも戻ってきてね。」と言ってくれました。だから、次に会う時には、今回以上に英語を流ちょうに話せるだけでなく、中身も成長した自分を見せられるように、勉学に励みたいと思います。

団長の中村先生、事務局の王さん、そして団員の 7 人と親善大使としてこの研修に参加できたことを心から嬉しく思っています。この研修に携わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

Dear all of the people concerned in this program,
Thank you for the 13 days.
I am glad to meet you and to talk a lot with you.
Thanks to you, I could make great memories. Everything is my treasure.
I will certainly come back to Anaheim and see you again. Until then, I will study hard.
So, please wait for me and keep well.
I will never forget you.
Thank you so much! I love you.
Wakana

後悔のない 13 日間　—13 Days when I have no regrets—

田中　小桜
Koharu TANAKA

私は、すべての中学 3 年生が勉強するこの夏に、アナハイムへの派遣が決まりました。「私がアメリカにいる 2 週間の間、ライバルたちは私と大きな差をつけていく。2 週間の遅れを取り戻すには、それ以上の努力をしなければならない。本当に行ってもいいのだろうか。」と何度も悩みました。しかし、「チャンスは一回しかない！後悔したくない！」と思い、この派遣事業への参加を決めました。

しかし、アメリカに着いて 2、3 日経っても、どこかで後悔する自分がいました。「このままの気持ちでアメリカの生活が終わってしまうのだろうか。」そんなときに、支えになってくれたのは、ホストファミリーです。常に私のことを気遣ってくれて、私をいろいろなところに連れて行ってくれました。様々なものを見ているうちに、「やはりここへ来てよかった。なぜ後悔していたんだろう。」と思えるようになりました。そこから先の日々は、本当にあっという間で、瞬きする間もなく過ぎていきました。そして、日本に帰る日が近づいたお別れパーティーの日、発表後のスピーチで前を向いて、お世話になった人たちを見たとき、「アナハイムに来て本当によかった。」とはっきり思い、涙が溢れてきました。

私がアナハイムで過ごした 13 日間は、驚きと発見、感動に満ちていました。見るものすべてが新鮮で、私の見識が広がる良い機会となりました。出会ったすべての人が、初対面の私に積極的に、かつ優しく接してくれて、そのおかげで、初めて会う人でも萎縮することなく、会話を楽しむことができました。初めての海外で、こんなにもチャレンジにあふれた生活を送れたのは、家族や協会の方々だけでなく、私がアメリカで出会ったすべての人々のおかげです。本当にありがとうございました。アナハイムでの生活は、私を前よりも明るく、前向きにさせてくれました。アナハイムでの経験を忘れず、さらに英語のスキルを高められるように全力で努力していきたいです。

Dear my host family,
Thank you for everything. I spent a wonderful time in ANAHEIM thanks to you.
I was so surprised when you gave me a lot of presents at the first time we met!!
You took me to a lot of places. I liked the dinner time with you.
I'll be back to ANAHEIM someday. I want to see you again.
Koharu

アメリカで過ごし感じたこと　—What I felt in America—

西川　天
Takashi NISHIKAWA

日本語の通じない場所での日々。それらは僕にとって、大切な経験になりました。

僕がアメリカに行って感じたことは、大きく分けて 2 つあります。まず 1 つ目は、食文化についてです。行く前からアメリカの食文化については知っていましたが、実際に実物を見ると、あまりの大きさに驚き、そして味のついたポテトに、さらにチーズとオーロラソースをかけたり、ケーキの上にケーキ以上の量の生クリームや、砂糖がかけられている果実をトッピングしたりしていて、アメリカの食生活を自身で体感することができました。

2 つ目は、価値観の違いです。アメリカでは、様々な人種や宗教が入り混じった、多文化社会が形成されていました。それは、人々が広い心を持ち、お互いが認め合っているから成り立っているもので、日本にはまだない考え・精神です。今日、グローバル化が進む中、これらは見習わなければならないものです。さらに、2020 年には、オリンピックが日本で開催され、多くの外国人が訪れるので、この考えがより大切になると思いました。

アメリカでの 13 日間、僕は本当に多くのことを学ぶことができました。僕を快く受け入れてくれたホストファミリー、このプログラムに携わってくださった全ての皆さん、本当にありがとうございました。

Dear Ms. Thu and all her family members (My host family),

I hope all of you are very fine.
Thank you very much for your warm hospitality during my stay in Anaheim. I had a great time with you and I could learn a lot from you about multi-cultural society, a diversity of values, etc. I will never forget these memorable days.
I enjoyed every single day and every conversation with you. Now I am happy that my English has improved a lot.
Once again, thank you very much for everything that you gave me and I am looking forward to seeing you again in the future.

Best regards,
Takashi

感謝の言葉

平成 30 年度水戸市学生親善大使
公益財団法人水戸市国際交流協会

今回、私たちを水戸市学生親善大使に任命してくださった方々、そして事前研修や事後研修、アナハイムでの交流など、全てにおいてサポートしてくださった方々に心から感謝しています。ホストファミリーと過ごした時間、英語研修、市役所や消防署訪問、野球観戦、市内観光など、様々な体験をし、それらを楽しむと同時にたくさんの発見をしました。英語でのコミュニケーションや異文化交流を通して、私たち一人一人が、新しい価値観やこれから身につけたい力に気付き、自分を成長させることができました。本当に有難うございました。

To
Mr. Anthony Al Jamie
Ms. Jackie Filbeck
Ms. Katie Filbeck
Mr. Jonathan Filbeck
Ms. Lori Dinwiddie
Ms. Namie
Our Host Family

We appreciate your taking care of us during the 13 days in Anaheim. Thanks to your supports, we were able to spend a wonderful time. The experiences that we had are our treasures. We will never forget the memories and will tell what we learned in Anaheim to people in Mito. We would like to join any other international programs to make a better relationship between Anaheim and Mito.

Best Friends ♡

#Beach

#Jump

#Disney

#Angel Stadium

#BFF

たかちゃん Takada Wakana

… 言語聴覚士

… パッキングハウスで食べた
ワッフルサンドウィッチ

… 8人でいろんな所へ行って
「すっごへい!!」を連呼したこと!

はるちゃん Tanaka Koharu

… 国際関係の仕事

… ディズニーで食べた
チュロス

… サンタモニカの夕焼け

→ 将来の夢
→ 一番おいしかった
たべもの
→ 一番の思い出

にっしー Nishikawa Takashi

… もっと便利に!

… ダウンタウンディズニーの
ハンバーガー

… 全部!

りく Ozawa Riku

… パイロット

… アメリカに来て最初に
食べたピザ

… アメリカの友達とディズニー
回ったこと!

カズ Shoro Kazuya

… JAXAで働くこと

… ビーチパーティで食べたスモア

… ディズニー

おびちゃん Obitsu Yukiko

… 留学コーディネーター

… ホストブラザーのバイト先で食べたストロベリーレモネード

… ディズニーランドの待ち時間にみんなでゲームをしたりいろんな話をしたこと

ゆな Imahashi Yuna

… テーマパークスタッフ

… IN-N-OUTバーガーのハンバーガーとポテト

… ディズニーに行ったこと!

かっしー Kashimura Akira

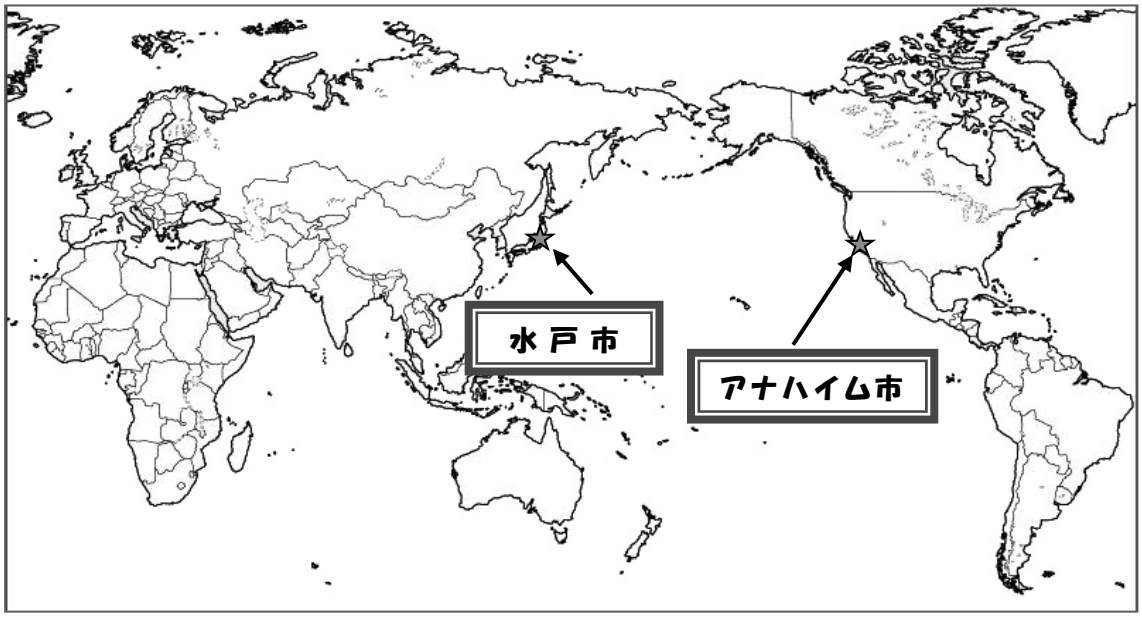
… 医者

… IN-N-OUTバーガー

… エンゼルスタジアムでの野球!

参考資料

～ Background information ～



- 募集要項　　（Guidelines for applicants）
- 相互訪問の軌跡、両市のプロフィール（People exchanges, city profiles）
- 事前研修の様子　　（Pre-visit training）

平成30年度水戸市学生親善大使 募集要項

１　目的

市内の学生を水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

２　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

３　事業概要

⑴　派遣期間　平成30年7月20日(金) ～8月1日(水) (13日間)

⑵　派遣先　　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
　　市民ボランティア(※)宅にホームステイ
　　（※ホストファミリーの経験が豊富であり、アナハイム市姉妹都市委員会が認める者）

⑶　派遣人数　8名(この他、親善大使を引率する団長・協会職員が同行する。)

⑷　親善大使としての活動内容

ア　アナハイム市での活動

㈠　アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修

㈡　英語研修

㈢　関係機関、施設等の訪問・見学

㈣　水戸市の紹介

㈤　ホームステイを通しての市民間交流

㈥　姉妹都市交流の推進、市役所表敬訪問

㈦　その他

イ　事前活動

アナハイム市での活動を効果的に行うため、事前研修を行います。

ウ　事後活動

アナハイム市での活動内容を報告書にまとめるとともに、今後、公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加していただきます。

４　募集人数

8名　（中学生　3名　高校生　5名）　※応募の状況によっては変更する場合もあります。

５　応募資格

下記のすべての資格・条件を満たさない場合、申込みは受付けません。

応募に際して英検等の資格は必要ありません。

⑴　平成30年4月1日現在、満13歳以上17歳まで(平成12年４月２日から平成17年４月１日までに生まれた方)であること

⑵　中学校、高等学校、高等専門学校などの学校教育法第一条に定める教育施設に在学中であること

⑶　本人又は本人と生計を一にする家族が水戸市内に住んでいること(平成30年５月１日現在)

⑷　協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動及び生活ができること

⑸　派遣前後に行われる研修等に参加し、派遣後も公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の国際交流推進事業に積極的に参加できる者

⑹　過去に水戸市学生親善大使としてアナハイム市を訪問していないこと

６　応募方法

⑴　提出書類　**※ア及びウは、応募者の自筆とする。ただし、アの承諾事項は保護者の自署とする。**

ア　参加申込書(様式第１号)　１通（裏面の承諾事項を含む）

イ　82円切手を貼った返信用封筒　１通(本人のあて先を記入したもの。)

ウ　作文　【題名】「水戸市学生親善大使となって何を学びたいか」
　　【規格】　A4規定用紙を使用、横書８００字以内　※学校名、学年、氏名を必ず記入すること

エ　現住所確認のため、本人と生計を一にする主たる納税者の運転免許証コピー（おもて面とうら面の両方）
　　※　運転免許証がなければ、住民票のコピーを提出してください

⑵　提出期間　平成30年5月8日(火) ～5月31日(木)**※直接または必着**

⑶　提出先　公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町６－59　　TEL 029-221-1800

水戸市国際交流センター内　(開館時間　午前9時～午後9時。月曜日、5月1，3～4日は休館)

⑷　提出方法　直接又は郵送すること。**(郵送の場合は必着)**

７　選考及び決定

選考は、当協会の選考要項に基づき、選考委員会が行います。

⑴　第１次選考　書類審査（選考の結果については、６月7日(木)までに本人の現住所へ送付します。）

⑵　第２次選考　面接（簡単な英会話を含む）、集団討論

ア　期日　平成30年6月10日(日)

イ　時間　午前9時～午後1時（予定）※応募人数によって時間が前後することがあります。

（時間の詳細については、第１次選考の合格者に郵送で通知）

ウ　場所　水戸市国際交流センター

選考の結果については、6月17日(日)までに本人の現住所へ送付します。（※選考の結果は各応募者あてに通知いたします。学校あてには通知いたしませんので、あらかじめご了承ください。）

８　スケジュール

6月　30日(土)　午後6時～8時	アナハイム市学生親善大使を囲んでのパーティー(予定)
7月　1日(日)　午後１時30分～５時	結団式（予定）・事前研修
7月　8日(日) 7月15日(日)　午後１時30分～5時	事前研修（水戸市・アナハイム市の概要及び英会話等）
7月20日(金)～８月1日(水)	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月19日(日)　午後1時30分～5時	事後研修
9月～１１月	報告書作成

※場所：水戸市国際交流センター（アナハイム市派遣を除く）

９　費用

この事業に要する費用のうち、次に掲げる費用は、参加者の個人負担とします。

⑴　水戸市～アナハイム市間の交通費等(※現地での活動費200USドルを含む)：約20万円(内５万円を協会より補助する)※燃油サーチャージは別途。※為替レートの状況により、現地活動費（日本円換算）が変動する場合があります。

⑵　自由行動時の個人的な費用

⑶　個人的な保険料

⑷　その他疾病又は傷害の治療費用

１０　親善大使の取消し

⑴　親善大使として決定された後であっても、不適格と認められる行為又は事実があった場合には、資格を取消すことがあります。

⑵　出発後の取消しは、団長が行います。この場合、親善大使を直ちに帰国させるものとし、帰国に要する費用は、本人の負担とします。

１１　旅行の取消し

申し込み後、事業への参加を取りやめたときは、旅行約款に基づく取消し料を負担していただきます。

１２　個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、当協会の個人情報保護規程に基づき厳重に管理し、親善大使選考及び選考に付随する業務のために利用します。

問合せ　公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町６－59

TEL：029-221-1800　　FAX：029-221-5793

E-mail：mcia@mito.ne.jp　　URL：http://www.mitoic.or.jp

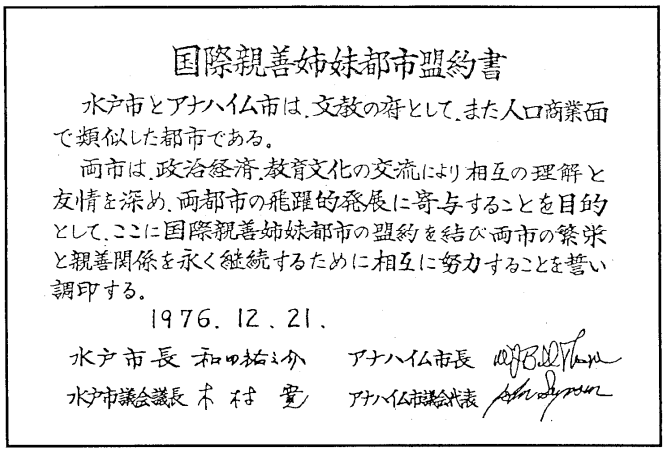
※本派遣事業は渡航者の安全確保を最優先させますので、今後の国際情勢によっては、応募後であっても中止する場合があります。ご承知おきください。

水戸市とアナハイム市の交流

水戸市とアナハイム市との交流は、昭和 49（1974）年アナハイム市在住の水戸出身の実業家が、恩師をアナハイム市に招待したことを契機として始まりました。その後の様々な人的交流が実を結び、アメリカ合衆国建国 200 年祭にあたる昭和 51（1976）年 12 月 21 日、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。姉妹都市となった両市は、幾多の交流活動を重ね今日に至っています。

学生親善大使の往来について、水戸市からアナハイム市への派遣は、昭和 63（1988）年の第 1 回以来、今回の派遣を含め 28 回実施され、計 496 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からは、昭和 60（1985）年を第 1 回として、これまで 29 回派遣され、計 118 人が水戸市を訪問しました。

このほか、水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和 51（1976）年の姉妹都市調印式を第 1 回として 32 回行われ、のべ 939 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からの使節団は昭和 51（1976）年を第 1 回として、これまで 19 回派遣され、のべ 419 人が水戸市を訪れました。（平成 30 年 9 月 1 日現在）



国際親善姉妹都市盟約書

水戸市とアナハイム市は、文教の府として、また人口商業面で類似した都市である。

両市は、政治経済、教育文化の交流により相互の理解と友情を深め、両都市の飛躍的発展に寄与することを目的として、ここに国際親善姉妹都市の盟約を結び両市の繁栄と親善関係を永く継続するために相互に努力することを誓い調印する。

1976. 12. 21.

水戸市長 和田拓三郎　アナハイム市長

水戸市議会議長 木村 實　アナハイム市議会代表

ー両市のプロフィールー

	水戸市（Mito）	アナハイム市（Anaheim）
人口	270,789 人 （2017 年 9 月 1 日現在）	357,084 人 （2018 年現在）
面積	217.45 km^2	130.7 km^2
標高	最高 160.0 m 最低　0.1 m	最高 52 m（170 ft） 最低 37 m（120 ft）
緯度	北緯　36 度 21 分 57 秒	北緯　33 度 50 分 10 秒
経度	東経 140 度 28 分 17 秒	西経 117 度 53 分 23 秒
気候	平均気温：13 ℃ 年間降水量：1,326 mm 温暖湿潤気候	平均気温：21 ℃ 年間降水量：249 mm 地中海性気候
市の花	ハギ（Bush Clover）	キンセンカ（Calendula）
市の木	ウメ（Plum）	マグノリア（Magnolia）
市制施行	1889 年（明治 22 年）	1857 年

派遣前の様子（Photos before leaving for Anaheim）

結団式
Inauguration Ceremony

研修初日
1st Day of the Seminar

アナハイムについての勉強
Study about Anaheim

A Bit of Japan の練習
Preparation for “A Bit of Japan”

出発式
Departing Ceremony

出発式
Departing Ceremony

3 日間の研修
その間に大使としての心構えを高め、
アナハイムへと旅立ちました。

アナハイムへ出発
Leaving for Anaheim

編集後記

編集委員一同

今年は中学生３名、高校生３名の計８名が水戸市学生親善大使としてアナハイム市へ派遣されました。

はじめに、この事業にかかわってくださった皆様に深く御礼申し上げます。私たちが一生の思い出になるような、素晴らしい期間を安全に過ごすことができたのは、皆様の支えがあったからです。このような機会を与えていただきありがとうございました。

親善大使一同、今回の派遣で培った経験を糧にし、飛躍していきたいと思います。

これから、水戸市とアナハイム市との交流が深まり続けることをお祈りして、編集後記とさせていただきます。

Thank you for everything. We had a really great time in Anaheim. We were very glad to meet you. We want to meet you again. We hope that the relationship between Mito and Anaheim will continue to grow for many, many years to come.

ANAHEIM 2018

平成 30 年度水戸市学生親善大使派遣の記録

編集　平成 30 年度水戸市学生親善大使
発行　公益財団法人水戸市国際交流協会